

岬小コミスクだより

宇部市立岬小学校
令和7年11月21日



◆学校運営協議会（第3回）のご報告

～会議次第～①学校の取組説明「スクールワイドP B Sについて」②授業参観～6年生が進めているプロジェクトへの助言 ③参観の感想、課題解決に向けての協議

第3回の学校運営協議会を11月20日に行いました。協議では、現在学校で行っている重点取組「スクールワイドP B S」がテーマとなりました。

◆話合いの様子（抜粋）

- A：地域（行事）等で「子どもたちの活躍の場」を設定し、地域の方からほめられる体験をすることで、自己肯定感（ありのままの自分を認める感覚）や自己有用感（自分は他者に必要とされ、誰かの役に立っていると感じる感覚）の高まりにつながるのではないか。
- B：では、どういった場なら小学生の出番ができるだろうか。
- C：今年の文化祭では、PTAが出店したお店のお手伝いボランティアやステージ出演による行事の盛り上げ等、活躍した姿があった。
- D：無理のない範囲で、しかもやりがいを感じられるような、そういう場を今後検討していきましょう。まずは行事の見直しから…

地域で望ましい行動を育てる（Local-community Positive Behavior Support）となると持続可能な取組となりそうです。

スクールワイドP B S

(School-wide

Positive Behavior

Support)とは、児童生徒が示す問題行動に対し、それを罰するではなく、「望ましい行動を育てる」という発想のもと、学校の実情や課題等を踏まえて場面ごとに行動目標を設定し、学校全体で全ての児童生徒を対象に取り組む組織的アプローチです。